

HEN
REI

綾波俱樂部
四



18歳未満閲覧禁止
H 成年
コミック

illustrated by Koh Kwarajima

AYANAMI CLUB-04

HENREIKAI/REI AYANAMI and HIKARI-HORAKI FAN BOOK- AYANAMI CLUB-004















黒の覚醒

いいぞ
おお!!

いいぞ

ハアツハハ無理矢理
ねじ込まれた肛門の
悲鳴が聞こえるよう
だよオ~~~~!!

粘膜が傷つき肉壁が
裂けるこの感触が
味わいたかったんだ!







フフフフ…
どうだい？

僕の愛液で
尻穴を満たされ
た感想は！



フフ……ご苦勞
だったねエ
満足だよ!

タツプリと君を
堪能する事が
できた……



じゃあ急ご
うか!

彼の命が
危ない事
だしね……!



だが…君が
彼に辿り着く
には生憎

もう一度“勇気”を
奮ってもらおう必要が
あってねえ……！！



それは羞恥にまみれた逃避の始まり…



黒の覚醒

-第四話-





さて…

そろそろ出てくる頃か…

クク…見モノだよ君がこの羞恥のゲームに耐え

悲願を果たした時に……

いったいどんな表情をするのか…がね!



ヤッパッ

ヤッパッ



……



やっぱりまだ
部活の生徒が
残ってる……！

どうしよう……

明日から
学校に来れ
ない！

こ……こんな
姿見られ
たらもう
……



ま…待って
下さい！

服を持って
いかれたら

わ…私
どうすれば!?

フフ言った
じゃないか
まだ最後の
ゲームが残っ
てるって！

君はその格好のまま
誰にもみつからず僕の
車まで辿り着かなきゃ
ならないんだよ！

フフ…考えて
もみたまえ！

シロウトが
ネルフ本部の
警備を突破し
て潜入しよ
うっていうんだ

この程度の
障害で尻込む
ようじゃ
おいそれと連れ
て行けない
だろ…？

君がこの
状況を乗り
切れるか
どうかで…

僕も腹を
括ろうと
思ってる
んでねェ！

アア…ア無理
です…そんな事！

お…お願い
着る物を
返してッ！！

今…私の精神は
羞恥の極限に
達している…

待っててね
鈴原君…！

2-A

それでも…私は
もう“前”に進む
しか…！！

今…行く
から！！



早く…早く
逢あいたい!!

今はもう鈴原君に
会うことだけが私の
すべてだから!



まったく
どうかして
るよ…
ネルフの
“人選”は！

破とか鈴原とか
ズブの素人ばかり
抜できして

どうしてこの僕が
選ばれないんだ!?

ブツ
ブツ

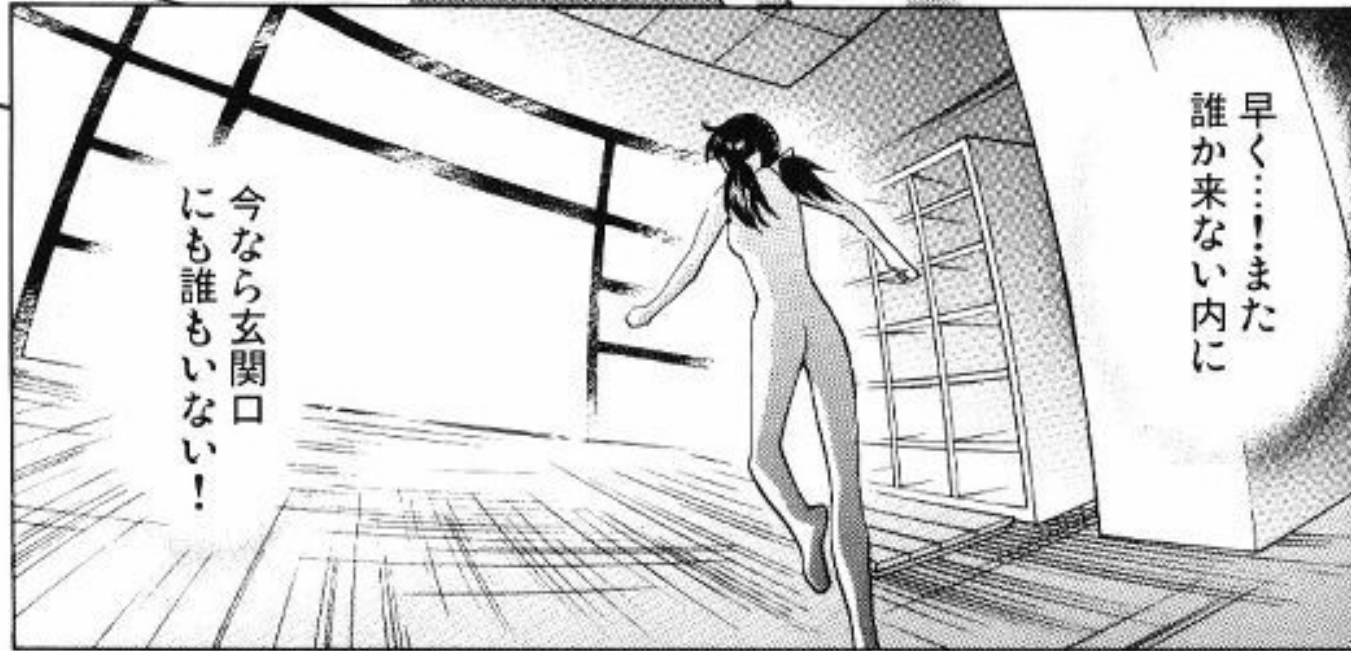


誰よりも
うまく…
一番上手に
扱える筈
なんだッ!!

きっとこの僕こそ
がエヴァのパイ
ロットには
最適任者
なんだ!



…相田君!



早く…! また
誰か来ない内に

今なら玄関口
にも誰もいない!

…委員長!?





い...碇^{いかり}くん

.....



.....ア...
その...

ケ...ケンスケの
奴がいきなり
キレて...その

カバン置いて
ったか...ら





まあ…
いいだろう！

“オマケ合格”
って事にして
おくよ！



さあ…とっとと
乗りな！

とばす
ぞッ！！



あれは!!

日向…さん？





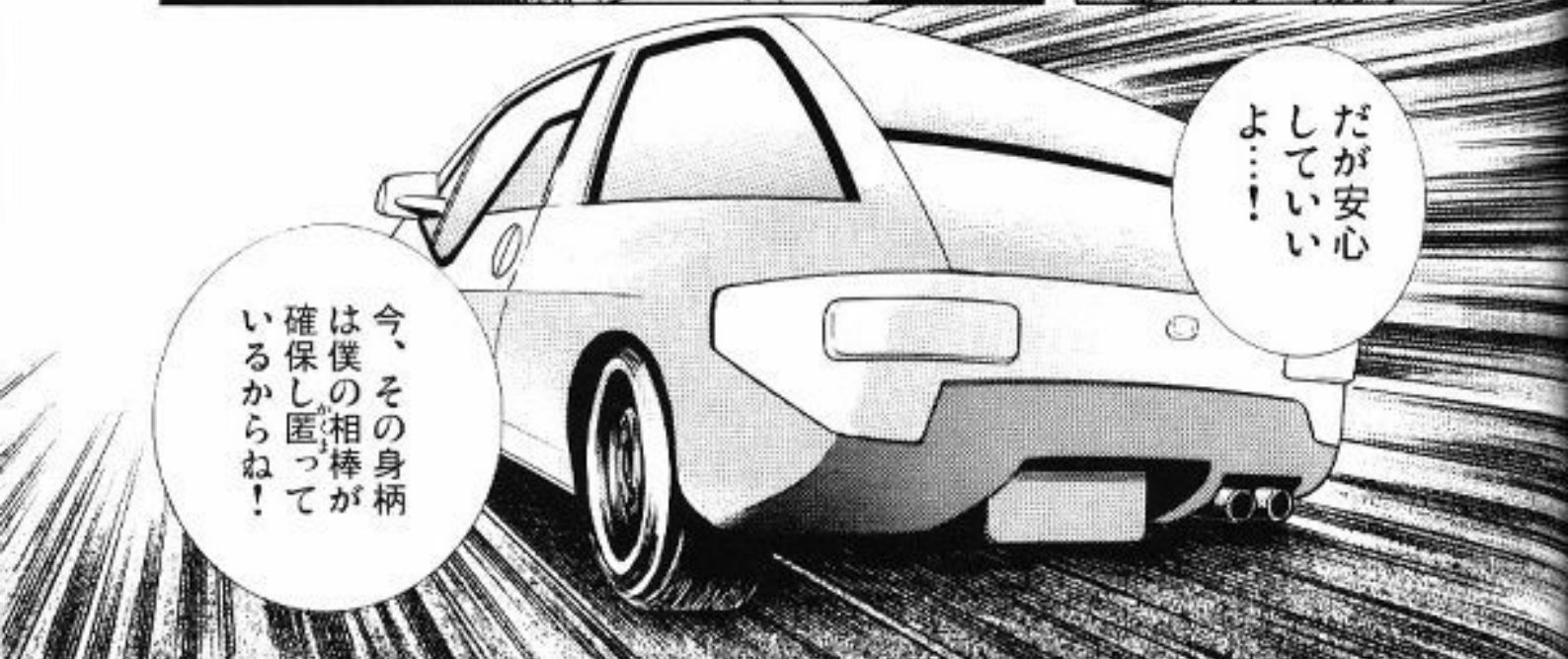
その級友
って…!?

も…もしか
して鈴原君
のことじゃ!?



フフフ…他に誰が
いるんだい?

彼はその時
生死の境を
さまよった
のさ



だが安心
していい
よ…!!

今、その身柄
は僕の相棒が
確保し匿って
いるからね!

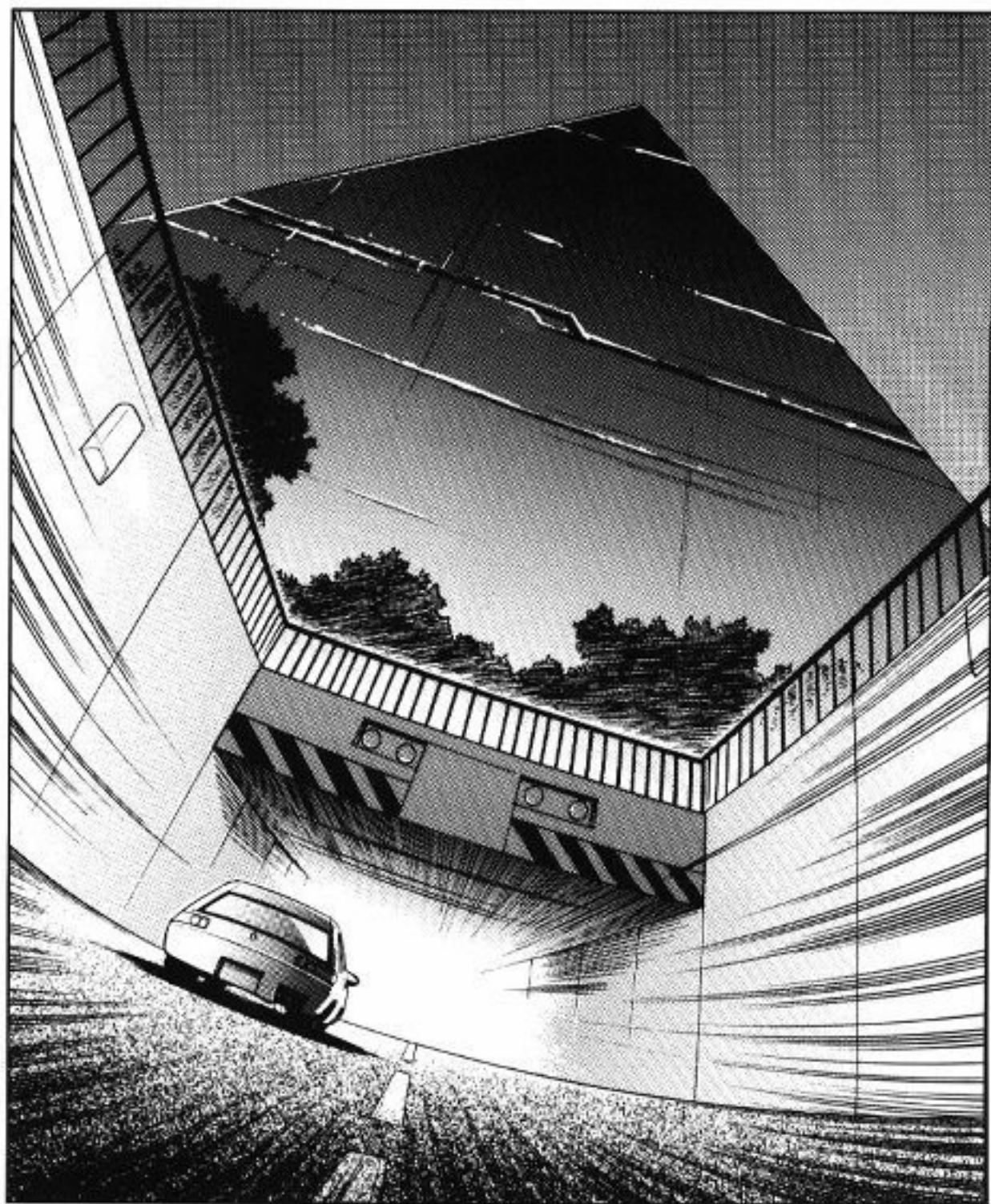


さあ…
まもなく
だ!

心の準備
はいいか
い…?

君が…

感動の再会を果たし
美しい“^{エンディング}終局”を迎える^{とき}刻が
とうとう来たようだね。



黒の覚醒 —最終話・後篇へ—

違和感





さよなら…碇くん



まばゆい^{ひかり}内光の中に…君は消えていった。



……かつて触れ合った かすかな温もりと



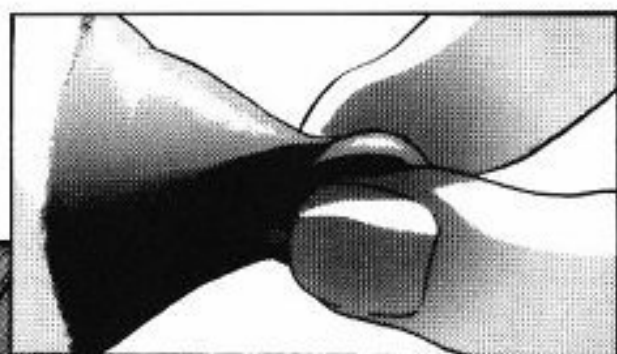
か細い自づかいを僕は覚えている……



誰でも…
している事
なんでしょ？

だったら私も
碇くんと…



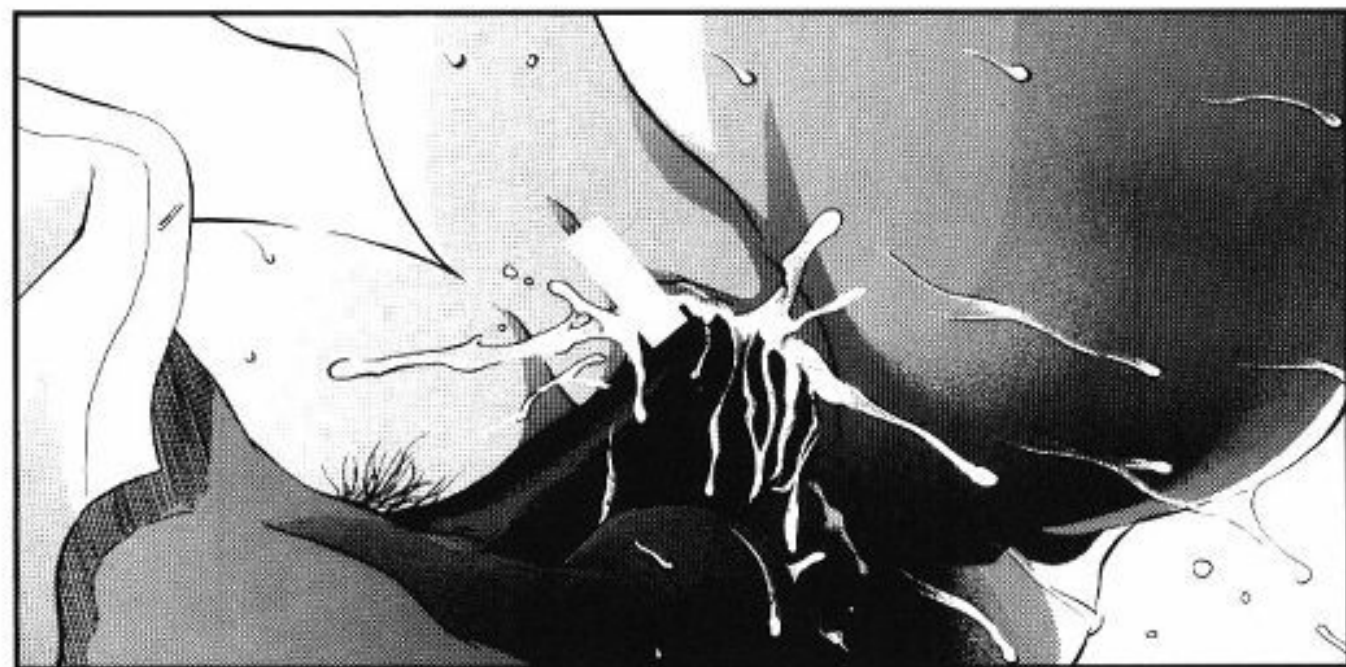


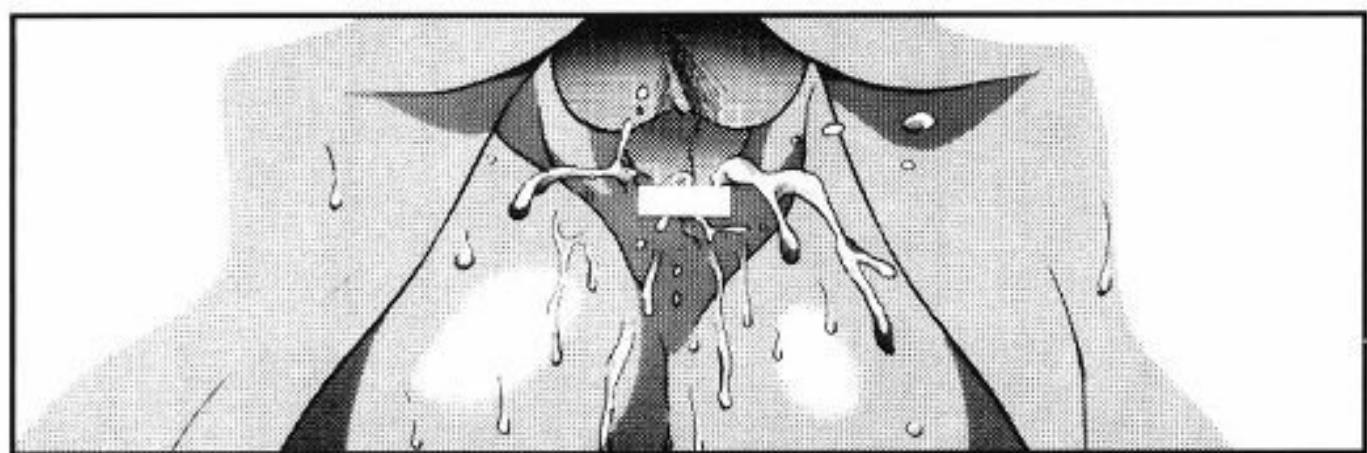
僕はとまどいながらも綾波との^{ちぎ}契りを交わす。



彼女との一体感を感じ取れる至福の^{とき}刻が流れてゆく…








自分の滾りを綾波の体内に
解き放ちたい……！！

そんなこみ上げる“思い”と“衝動”を
見透かすように彼女は僕の耳元で
そつと囁きかける……










判る…わ
碇くん!



あなたの…
温もりが今

私の体内に
流れ込んでくる!



綾波のいない世界
なんて…もう僕には
考えられない！





あの爆発の中で……
綾波レイは奇跡の
生還を遂げた。



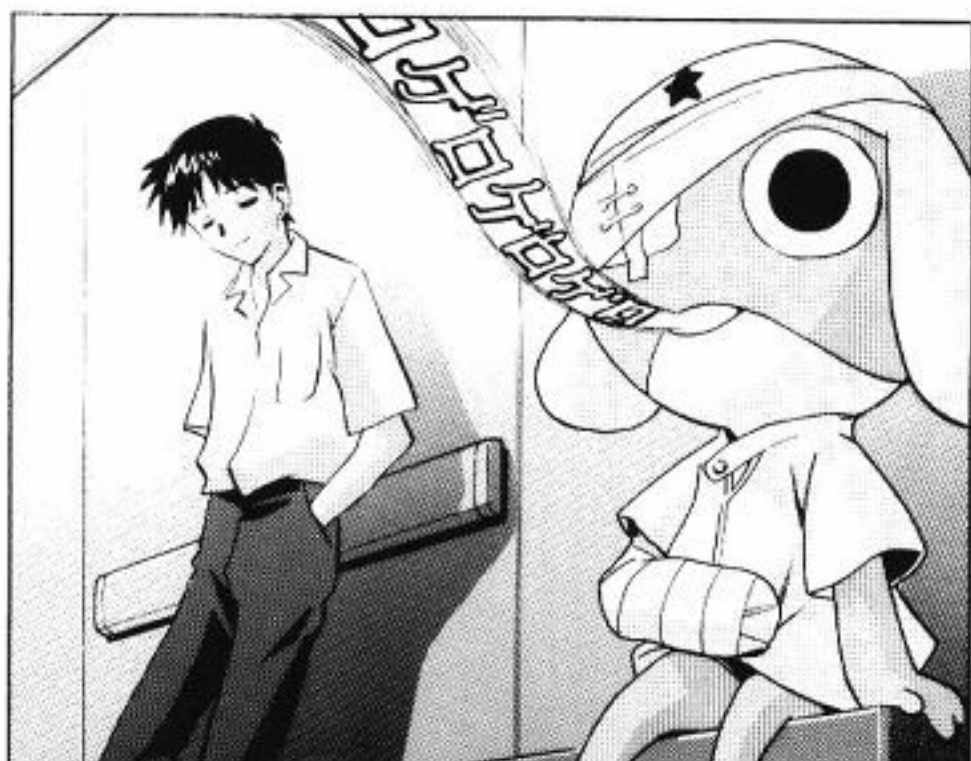
何故、助かったのか……なんて理由はどうでもいい！
彼女の傍に今こうして自分が居るその事実だけで僕は満足だった。



綾波は少し違和感のある口調で
やんわりと事実を否定する……



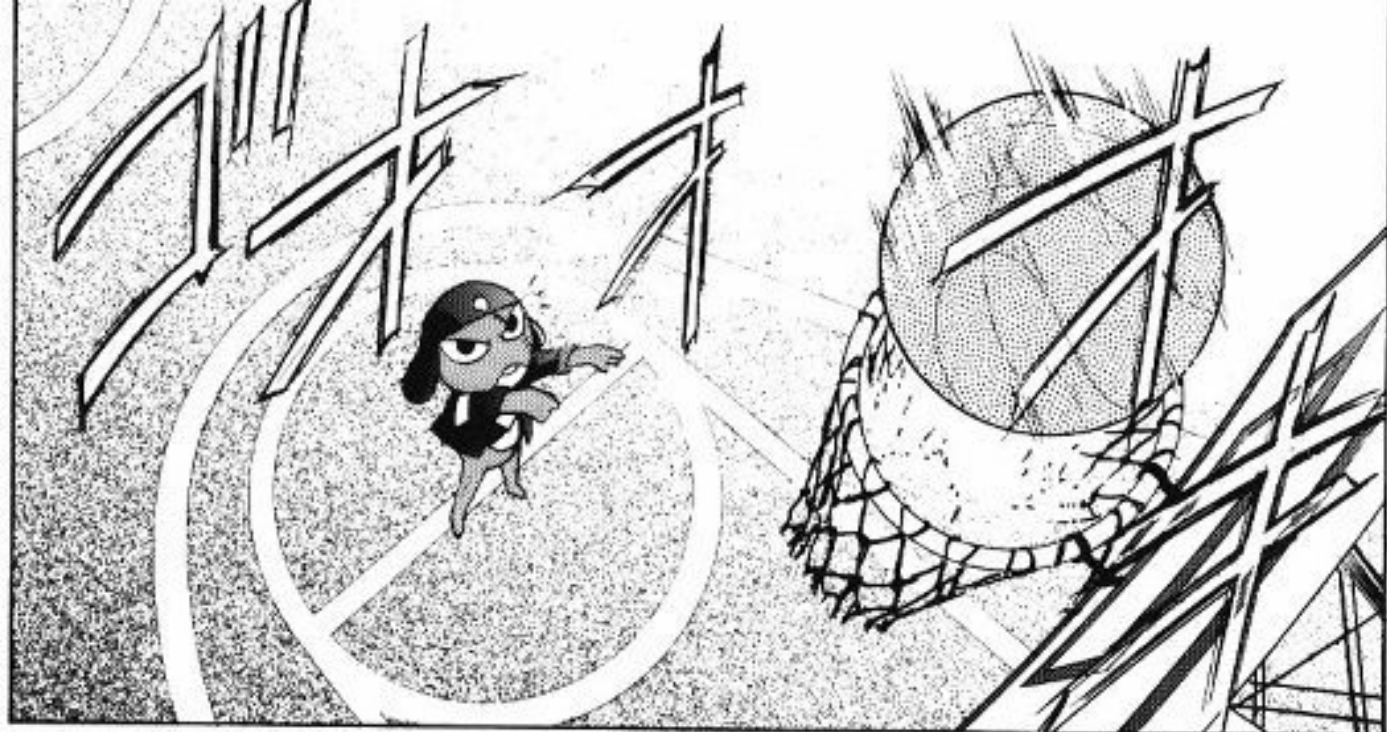
どんなに違和感があってもそれは
また、時間が解決するに違いない。



夕陽が沈む病院の廊下で僕は
綾波のあのか細い息づかいを
静寂の中で再び聞いた気がした。

信賴關係





フフ…今日から俺も
エヴァのパイロットか！
腕が鳴るわ…

あの輸送機に…
俺が乗る例の機体



ネルフが所有する事になる
エヴァ参号機が搭載されて
いるのだな…！

先に入隊した
ケロロ達に負け
てはおれんな！



地球侵略の為には先ず
邪魔な使徒を殲滅しよ
うって事になり

我々、ケロン小隊も
身分や素性を隠し
ネルフに入隊した。

内面が脆くふがいない
地球人の少年たちに
なり替わりエヴァの

専属パイロットとして
戦場に赴く日々を
送っている。



シンクロ率 300%
を超えます!

両生類の特徴を
生かしまだまだ
上昇中!

オールクリア!

なんか
こう…
緊張する
もんだな!



大丈夫で
ありますよ
ギロ口伍長!

要は慣れで
あります

最初の内は我輩が
サポートに回るので
ありますから!



ん……
なんだ？

まったく
動かなく
なったぞ



参考機
システム内に
異常発生！

高エネルギー
汚染拡大中！

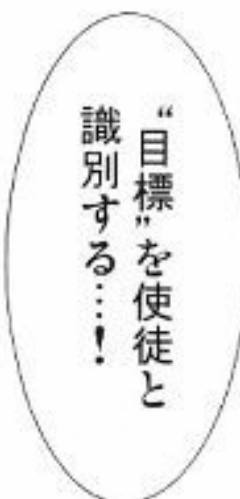
陽性反応を
確認……！
“使徒”です！



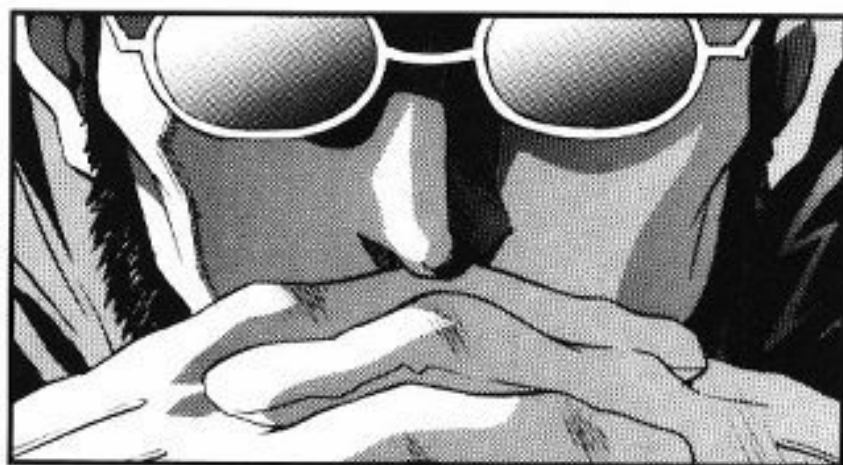
☆—
FROM EVA-01

フフ……負け
んぞ隊長！

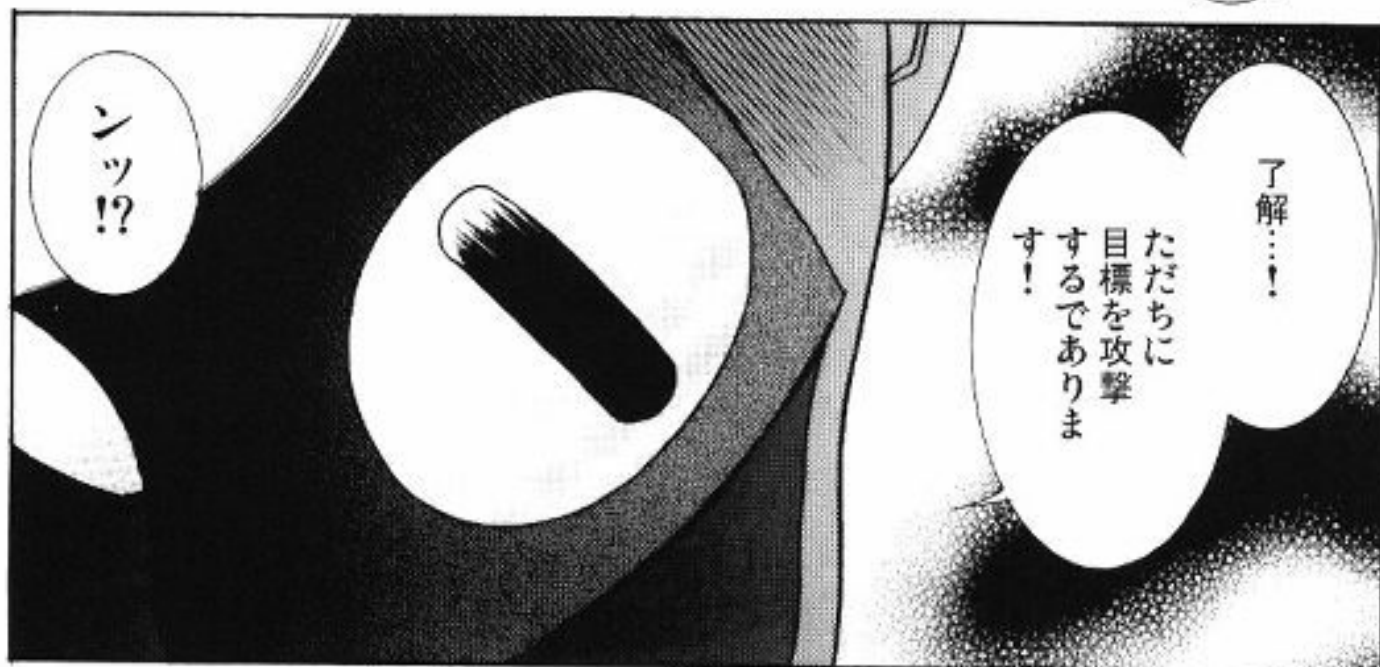
こう見えても
メカの操縦は
得意でな！



“目標”を使徒と
識別する……！

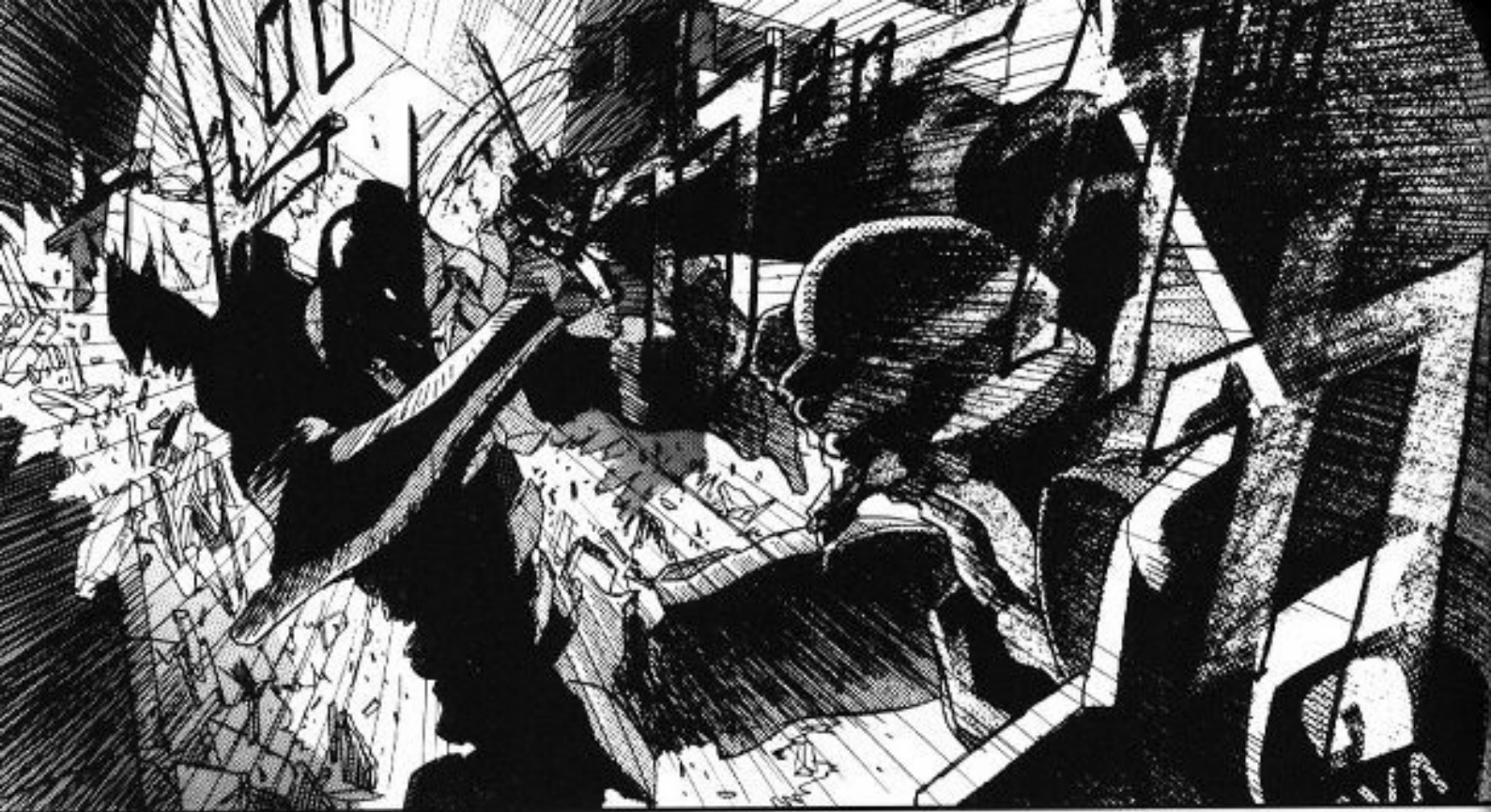


……
現時刻をもって
参考機を破棄！



んっ！？

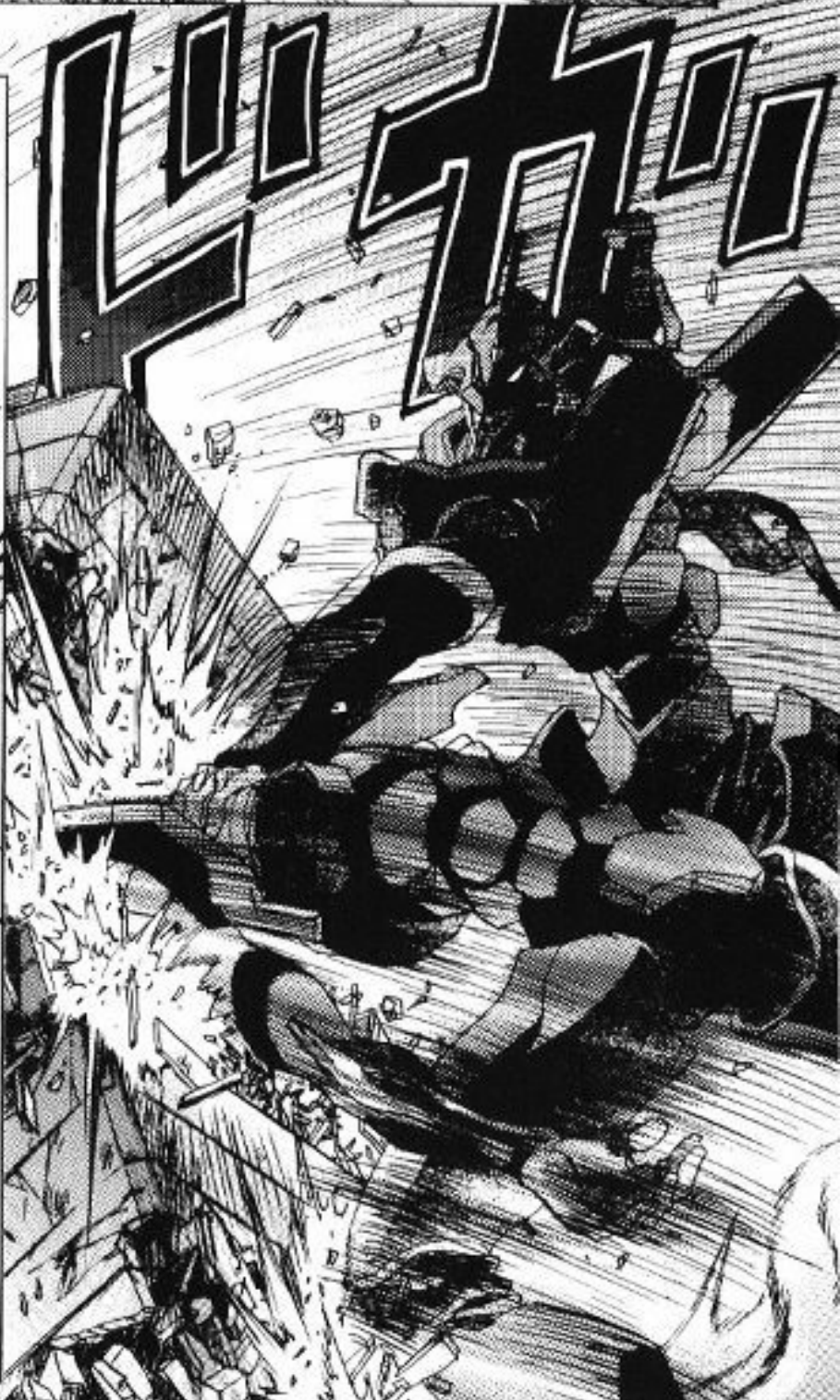
了解……！
ただちに
目標を攻撃
するでありま
す！

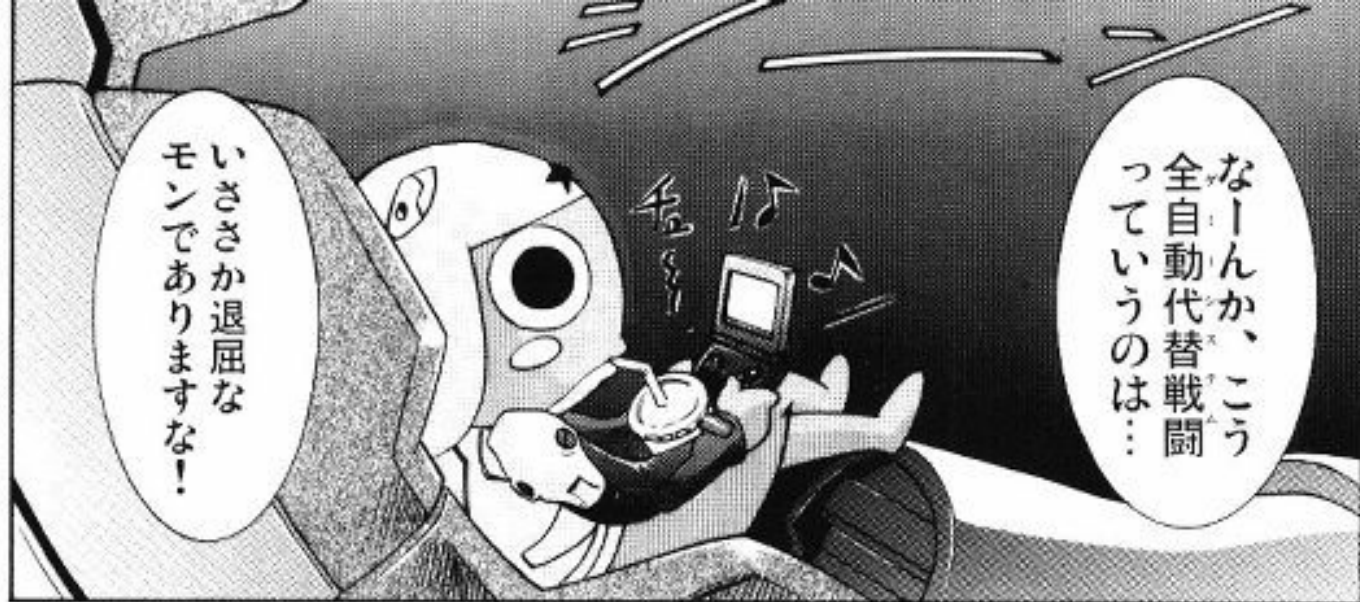




や、やめろッ
オイ…ちよっと!

し…死ぬ!!





いささか退屈な
モンでありますな！

なーんか、こう
全自動代替戦闘
っていうのは…



ダミーシステム
解除！

使徒の識別
反応は誤認と判明…

参号機を回収し
作戦を終了せよ！



いや、
やっぱりそう
でありました
か！

ギロロ伍長が
“使徒”だなんて
変だと思ったで
ありますよ！

もう少しで
我輩達の
“信頼関係”に
ヒビが入るトコ
だったであ
ります！

アハハハ
また全滅だ



薄れゆく意識の中でギロロは思った。

「もういいよ……こんなツギハギだらけの
原稿の中でヨゴレ役を演じるのが
きつと俺の運命なんだな……」

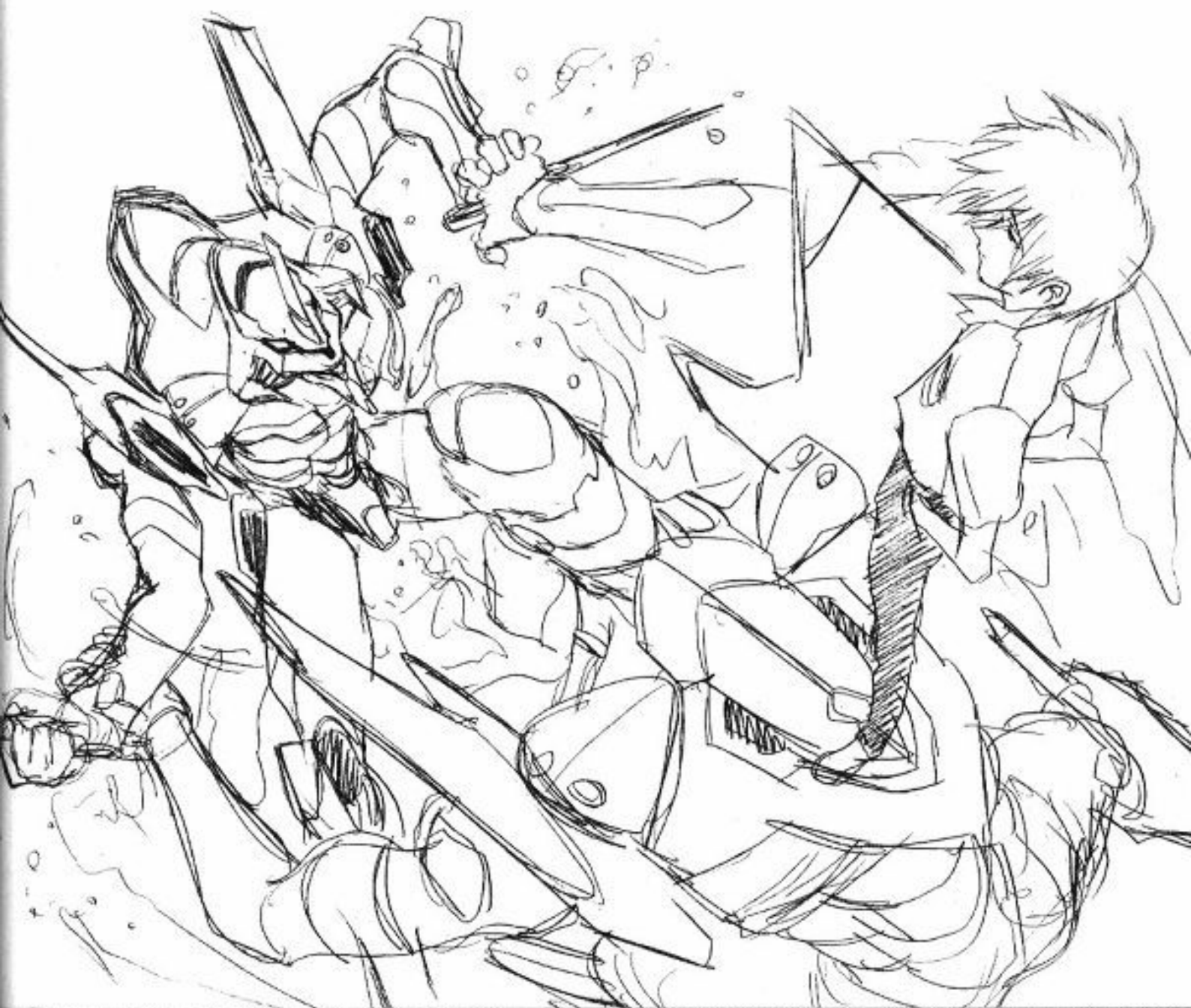


悪いのは隊長でもこの漫画でもなくきつと
「時間が足りない」って事情そのものなんだな。
そう悟ったギロロはシニカルな微笑を浮かべ
完全に気を失った。

-綾波俱樂部-

下書き工房





今回の表紙ラフ(右)

下の決定稿と表情が違いますがラフの方がシャープな印象で全体的に硬質なタッチで統一されていて絵としてまとまっていたかも知れません。

このあたりが二人で一枚の絵を仕上げるスタイルをとっている為、判断が難しい所なのですが…





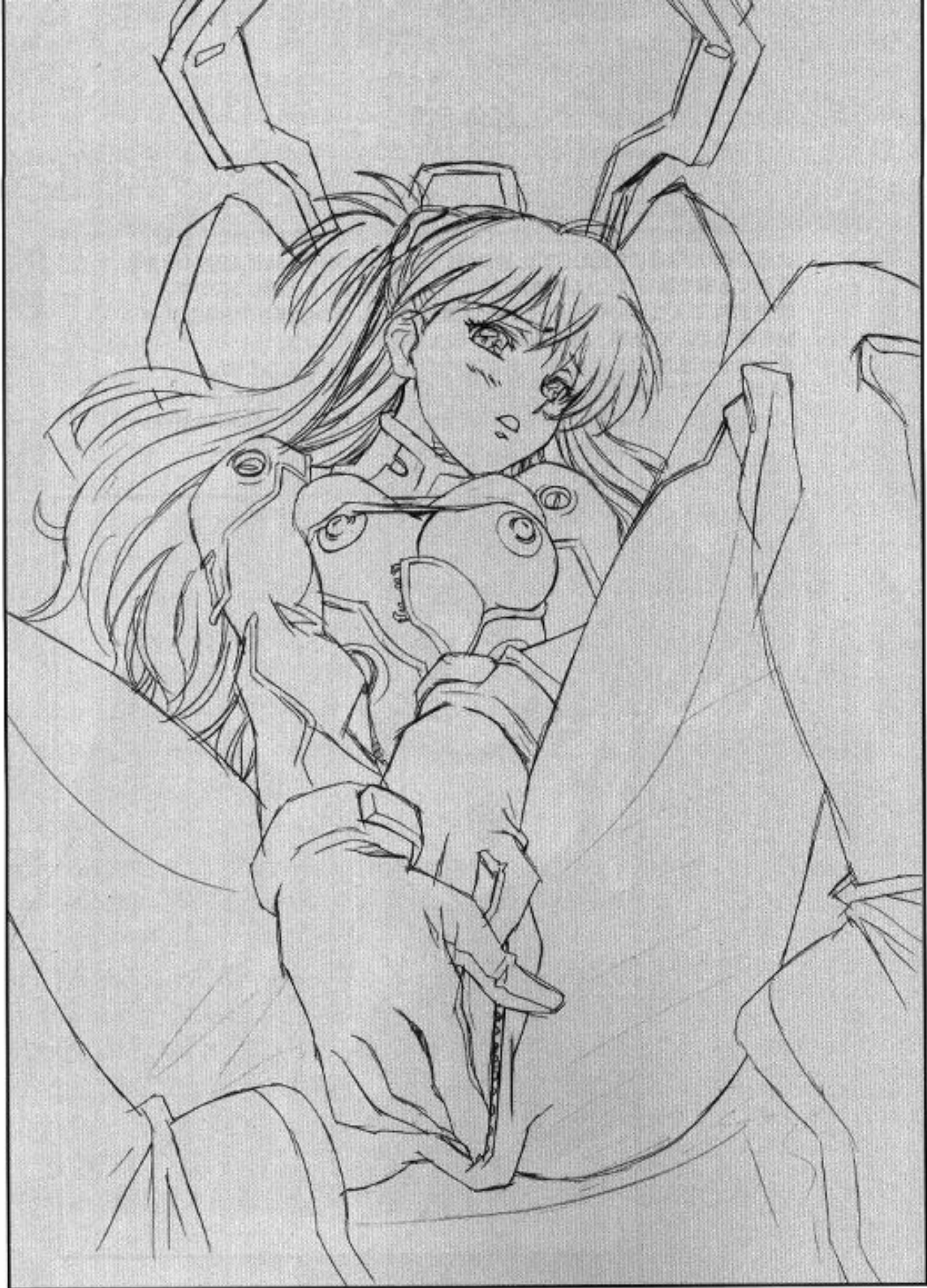
かわらじま晃という二人ユニットの漫画家を始めてはや10年が経ちますが一番悩むのはやはり仕上がった絵のバランスですね。1人はクオリティを重視し、もう1人はニュアンスを重視する。自分達のオリジナル・デザインならともかくアニパロや他の作家さんの絵を描く場合、相方の印象やイメージの違いがそのまま絵に出てしまう。我々が描く綾波レイは特にそれが顕著に表れているキャラクターではないかと思います。











今回、比較的うまく描けた気がするのは前ページとこのページのアスカ。
普段よりもやや面長にまとめたのがよかったのかな？この辺の下描きや
ラフは今回の抽ブレグッズか春のSPコミケにてプレゼントする予定です♡
余裕があったらブースに遊びに来て下さいネ。(落選したらゴメンだけど…)



IMAGINATION THEATER.



妄想劇場